学校番号	219

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 基礎・基本を押さえ、中学校美術の学習で養われた創造的な表現と鑑賞の能力をさらに伸ばし、美的直感力や発想力、構想力を培おう。
- 基本的な課題や練習課題を中心に、表現力や技術を学びます。
- 日常生活の中での「美術」の影響を感じ、美術への視野を広げよう。
- 身近にあるものを参考例として挙げ、美術への関心を高めます。
- 道具の扱い方、後片付け等のマナーを身に付けよう。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察等 アイデアスケッチ	観察等 アイデアスケッチ ワークシート 提出作品	観察等 ワークシート 提出作品	観察等 振り返りシート ワークシート 鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	高校美術Ⅰについて	【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション ・鉛筆をカッターで削る	 ○ ○	 ○	 ○		a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 c:鉛筆の木の特徴を生かし、カッターで削ることができる。	観察等 ワークシート
	色と形の平面構成	【デザイン】 ・鉛筆で描く ・アクリルガッシュによる色彩構成(寒と暖の表現) ・振り返りシート(鑑賞)	 ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○	a:表現の特性を生かし、形や色彩などの造形要素の働きを考え、独創的かつ創造的な表現の構想を図ることができる。 b:感性や想像力を働かせて、目的、機能、美しさなどから、主題を生成し、表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働き方を考えて創造的な表現の構想を図ることができる。 c:表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現することができる。 d:主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表現することができる。また、技法や材料、用具の特性を理解し、目的や意図に応じて、特性や効果を生かして表現することができる。	観察等 アイデアスケッチ ワークシート 振り返りシート 提出作品 鑑賞レポート

2	身近にあるデザインを使って	【デザイン】【鑑賞】 ・アクリルガッシュで平面構成 ・版の表現 シルクスクリーン ・振り返りシート(鑑賞)	 ○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ ○	a:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などついて理解を深めている	観察等 アイデアスケッチ ワークシート 振り返りシート 提出作品 鑑賞レポート
3	アニメーションをつくろう	【映像メディア表現】【鑑賞】 ・映像メディア表現 ①絵や写真を動かす ②写真や映像の展開 ・振り返りシート(鑑賞)	○	○	○	 ○	a:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:映像表現の視覚的要素などの効果を生かして創造的で心豊かな表現の構想を練ることができる。 c: 発想や構想の独自性、表現の工夫などについて、多様な視点から分析し、理解する。 d:互いのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	観察等 アイデアスケッチ ワークシート 振り返りシート 提出作品 鑑賞レポート